月刊 かながわ鉄構協ニュース NO. 159

Tel　045(290)7600
Fax　045(311)7761

性能評価事前研修会が開催された

６月９日(金)午後、令和５年度前期の鉄骨製作工場性能評価に申請した１社に対する事前研修会が組合事務所で行われた。講師は､小原教育技術委員長、鈴木教育技術委員、目黒事務局長。なお、４年度後期に受審した㈱渡辺鐵工所の渡辺健太さんがアドバイザーとして、また、５年度後期に新規申請を予定している１社も参加した。

①性能評価において資格証偽造により大臣認定取り消しとなった事案があったことから、工場審査時の資格証確認が徹底されるようになったこと、②全鉄評が策定した「工場審査における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」は、政府が新型コロナの位置づけを変更したことにより廃止したが、基本的な感染対策は継続し､有症者の出席は控えること、③コロナ禍において、審査時間短縮のため、審査員に事前に目を通していただけるよう、審査資料を審査日の２週間前までに当組合を通じて審査員に事前提出することは、2024年後期申請までは継続することなどの説明があった。

小原委員長からは、全構協のＨＰからダウンロードした「鉄骨製作工場の基準マニュアル集（2022年２月改訂）」を液晶画面に映しながら、工作基準や検査基準などについて詳細な解説があった。

受審の様子を記録した写真、経営理念を掲示した写真、手作りの会社案内などを回覧したり、小原・鈴木両委員と渡辺健太さんの受審時の審査員との質疑応答などが披露され、多くの情報や知見を共有できた有意義な研修会であった。

Ｍグレード部会総会開催

６月９日(金)16時から、かながわ県民センターにおいて、第17回通常総会が開催された。

日向幹事の開会の辞、「会員23社のうち、全会員23社が出席（本人出席17社、委任状出席６社）で定数を満たしており、総会は成立している」との報告に続き、小原副会長から「コロナ禍で15･16回の総会を対面開催できなかったが、本日は平常どおり対面で総会を開催できて喜ばしい」との挨拶があった。

会長不在のため、小原副会長が議長に指名され、議事を進行した。なお、全国Ｍグレード部会に合わせて、当Ｍグレード部会も事業期間を暦年（1.1～12.31）から、年度（4.1～3.31）に変更したため、今事業期間は15カ月間（4.1.1～5.3.31）としたとの報告があった。

議案審議は第１号議案（令和４年度事業報告・収支決算報告・監査報告）、第２号議案（令和５年度事業計画・収支予算案）は原案どおり承認され､第３号議案（役員改選）については、下表のとおり決定した。

会　長	小原　清太	㈱小原鉄工所
副会長	青柳　治夫	㈱青柳製作所
副会長	佐藤　健彦	㈲佐藤鉄工
会　計	糀　　博史	マイカ工業㈱
幹　事	日向喜久仁	㈱日向鐵工
監　事	山口　和伸	三葉鉄工㈱
相談役	石井二三夫	㈱石井鉄工所

新役員の皆さん

鉄骨加工概論・工場見学の実施

６月６日（火）午後、今年で14回目となる日本溶接構造専門学校の鉄骨加工概論の一環である工場見学が平塚市の岸本建設工業で実施された。岸部・石井両講師と生徒６名、引率の先生１名、全構協から新村技術部長と瓜生主任が参加した。

工場概要の説明、模擬原寸・製品検査の講義を受けた後、空調服・ヘルメットを着用して工場内で、入熱パス間温度管理、ペンキ膜厚検査、開先検査、サムスチールチェッカーを使用した材質検査、ショット面の粗さ測定などの各種測定検査に加えて、ハイドロカットの切断実演等を見学した。

毎年のことながら、岸本建設工業の方々の受入準備や実演も万全で、有意義な授業となった。

岸本建設工業の皆さま、お忙しいところ、ありがとうございました。

マスクフィットテスト説明会が開催された　６月12日(月)、かながわ県民センター

当組合で購入した定量的マスクフィット測定機器(AccuFIT9000 PRO 3000-J1)の使用方法を主に解説する､マスクフィットテスト説明会が開催された。講師は、日本カノマックス株式会社のシニアセールスマネージャーで、フィットテスト研究会認定フィットテストインストラクターの有松仁氏。

最初に定量的フィットテストの意義や方法を講義し、次に有松氏が測定機器を操作しながらデモンストレーションを行った。

さらに、受講者が測定機器の測定者と被験者になって、フィットテストを実演体験した。

受講者は、31社42名であった。

当組合では、７月から機器貸出事業を始めるので、大変参考になる、有意義な説明会であった。

なお、測定機器の貸出手続き・期間・費用負担等を定めた規約と借用申請書は、後日組合員にメールでお送りする予定です。是非ご活用ください。

青年部会総会開催

６月17日(土)15時から、神奈川中小企業センターにおいて、第33回定時総会が開催された。

村岡副会長の開会の辞、「会員29名のうち、全会員29名が出席（本人出席17名、委任状出席12名）で定数を満たしており、総会は成立している」との報告に続き、鈴木会長から｢令和４年度はコロナ禍であっても、皆様のご協力により、多くの事業を実施することができた。令和５年度はコロナが収束したとしても、物価高や労働環境問題などの難しい問題に直面しているので、横のつながりを大切に活動していきたい｣との挨拶があった。

部会規約により、鈴木会長が議長に指名され、議事進行の結果、第１号議案（令和４年度事業報告・収支決算報告・監査報告）、第２号議案（令和５年度事業計画・収支予算案）、第３号議案（規約改定「会員の年齢要件廃止」）は原案どおり承認された。

総会後、㈱鋼構造出版の**桑野祐滋氏**が**「鉄骨市場の動向／建築用鋼材とＣＮ」**をテーマに講演をした。

【講演要旨】

鉄骨市場を取り巻く環境は、製造業の国内回帰もあり、鉄骨・鋼材需要は堅調。一方、世界的な鋼材価格の高止まり、国内各地での計画見直しや工程ずれ､人手不足や電力・輸送コスト上昇など課題が山積している。23年度の鉄骨需要は前年度並みの440万トン程度と予想されるが、先々の不透明感は強い。

カーボンニュートラル（CN）関連動きとして、鋼材調達先を高炉から電炉に切り替える動きも散見される。ただ、建築用鋼材需要を国内の電炉鋼材だけで賄うことはできない。電炉鋼材ももとをただせば高炉鋼材という点を忘れてはならない。

ＲＪＮグレード部会総会開催

６月３日(土)16時から、組合事務所において、第９回定時総会が開催された。

摩庭幹事の開会の辞、「会員21社のうち、全会員21社が出席（本人出席12社、委任状出席９社）で定数を満たしており、総会は成立している」との報告に続き、柳川会長から｢日頃のご協力に感謝。令和５年度は通常の活動に加え､山梨､静岡､神奈川三県合同の研修会を開催するなど、活動範囲を広げていきたい｣との挨拶があった。

部会会則により議長に指名された柳川会長の議事進行により、第１号議案（令和４年度事業報告・収支決算報告・監査報告）、第２号議案（令和５年度事業計画・収支予算案）は原案どおり承認された。

総会後、各社の現況、働き方改革対応､希望する研修などについて､情報意見交換を行った。

賛助会員大日本塗料㈱神奈川営業所　景守徹(かげもりとおる)所長着任のご挨拶

４月に着任となりました大日本塗料(株)神奈川営業所所長の景守(かげもり)と申します。これまで、東京、新潟、仙台、名古屋、福岡、埼玉と６拠点を渡り歩いておりました。この度､家族を埼玉に残し生まれて初めての単身赴任生活を送っております。

ここ数年、特殊な環境が長く続いておりましたが、やっとコロナ禍以前の日常生活に戻りつつあり、皆様方とも対面でお話する機会が増えることを楽しみにしております。

塗料を通して皆様の共済事業に貢献したいと考えておりますので、今までと変わらぬ弊社製品をご愛顧いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。